

會員から會員へ

この部分は、會員から會員への公開の通知のために提供されてある。つぎのやうな目的に利用せられることを期待する。1) 本誌へ掲載された論文の詳細あるひは續報が他の雑誌に掲載された時、その題名、掲載誌名、巻、號、頁、發行年月等を本會員のために通知していただきたい。2) 本誌へ掲載された論文について、簡単な追加、補遺等を公開せられる時にも利用していただきたい。ただし記事は具體的なことを取り扱つたものであることを要する。字數は400字以内に制限する。

本誌に掲載した原稿の本文は、いづれも規定に従つて書かれてあつたのであるが、印刷になつて規定の4頁を超えたものがあつたのは、表の占める廣さについて筆者に誤算があつたためと思はれる。表の占める廣さは、印刷になつても案外減じないものである。例へば、表において10行占めてゐるものは、印刷になつてもそのまゝ10行を占めることが多い、故に原稿用紙でたとひ規定内(400字詰原稿用紙10枚以内)に書かれてあつても、表が大きいと、印刷になつて4頁以内におさまらないことがある。脚註や挿圖についても同じことがいへる。

最初に寄せられた原稿は、印刷の進行上大抵そのまゝ掲載したが、これからのものは、この點に十分氣をつけていただきたい。要するに、表、挿圖、脚註が印刷面で占める廣さを十分に考慮していただきたい。

〔編集委員〕

*
**

會 10 石川の報告 (44 及び 45) (本誌. 1(3): 146-153)

詳報がつぎの如く發表された。

石川七郎: アレルギー性反應と年齢との相關性に關する實驗的研究 (家兎に於ける Arthus 現象の觀察) 日本外科學會雜誌. 43(2): 165-186, 昭和17年5月.

(石川七郎)

會 11 館稔の報告 (119) (本誌. 1(9): 409-411 及び (142) (本誌. 1(10): 489-491)

この二つの報告を接續してつぎの如く發表した説明の仕方を若干變へてみた。

館稔: 在内地外内地人口の増殖力に關する1資料, 昭和17年6月6日, 日本統計學會第12回總會報告 (日本統計學會年報第12年所載の見込). (館稔)

會 12 館稔の報告 (11) (本誌. 1(1): 38-41)

人口再配分政策理論の一環としてつぎの論文で使用してみた。

館稔: 都市を中心とする人口再配分政策について, 雑誌國土計畫, 第1卷第1號, 頁158-174 (昭和17年7月) なほ本誌第1卷第9號本欄441頁参照. (館稔)

會 13 矢内原の報告(101)(本誌. 1(7): 340-341)

詳報をつぎの如く發表した。

矢内原啓太郎: 簡易な卵管通水法. 同仁會醫學雜誌. 16卷6號 頁 347-354.

(昭和17年6月號)

(矢内原啓太郎)

第1卷 第7號 正誤

頁	行	誤	正
340	15	-300cmHg	-399mmHg

第1卷 第9號 正誤

頁	行	誤	正
400	下より	8 ある日	幾日
401	脚註下より	3 300,1936	3011,1,1936
414		2 無爲萎縮, 作業肥大,	(無爲萎縮, 作業肥大)
414		5 頸部	頭部
414	圖説明	3 相對物	相對的
414	下より	12 斷されてゐない……	斷されてゐる……
432	下より	4 甲穀類	甲穀類
434	下より	6及7 //	//
436	上より	11 葉内部	葉肉部

第1卷 第10號 正誤

頁	行	誤	正
489	著者名	館稔	館稔
489	所屬研究所	(厚生省人口問題研究所)	(厚生省・人口問題研究所)